



本場、米国仕込みのカイロプラクティック



江川哲也院長

なぜ背骨なのか。体のすべてを組織・器官は脳が背骨と神経を通してコントロールしている。神経は脊柱を通り24個の関節から各器官へと伸び制御している。しかし、これがけが、ストレス、出産経験など何らかの原因で背骨の関節がずれ、神経を刺激す

背骨の状態を把握し体の調子を整えるカイロプラクティック。114年前、米国のD・D・パーマー氏が創案した自然療法で日本でもなじみだが、従来と一線を画す東北初の本格的なカイロプラクティック専門施設、仙台ゲゼンハイト・カイロプラクティック・オフィスが今年1月開院した。米国認定専門医で院長の江川哲也氏は故郷仙台で「本物のカイロケアを提供したい」と熱く語る。

江川院長は仙台市生まれ。地元高校と大学を経て、台湾の大学へ。その後渡米し18年間在住。当時、江川院長自身、体調を崩しあらゆる治療

米国発祥の未来の医療、カイロプラクティックで健康な体づくりを

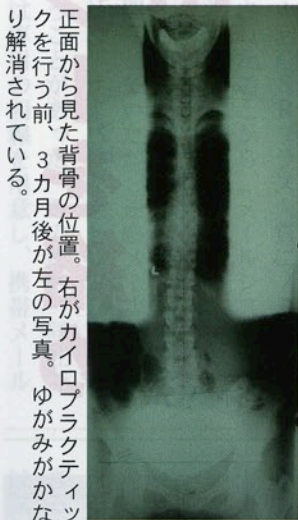
を試みたが回復せずいたところ、カイロプラクティックで完治したのが出会い。その後テキサス州パーカーカイロプラクティック大学で学び、ニューヨークなどで専門医として治療にあたり、2008年に帰国、出身地の仙台でこのほど設立した。

カイロプラクティックは米国では法制化、その身分が医師として認められている。3065時間の教育課程が義務づけられ、4種にわたる国家試験を合格後、ようやく全米50州の開業免許が取得できるなどハードルは高い。第1次医療のドクターであり、神経系と脊椎の専門医として評価。民間療法イメージがあるが極めて科学的で理論的に確立された医療で、今では西欧やアジアで法制化されている。

「サブラクゼーション」を引き起こすことで、さまざまな機能障害、痛み、免疫力低下を招く。それだけ重要な部分なのである。カイロプラクティックではこれを検出し取り除くこと（自己治癒能力の向上）が目的。基本的に予防医学の考え方を持っている。米国認定専門医である江川院長が、米国での豊富な経験により背骨を本来の位置に、より科学的で正確に戻し、中枢である脳と身体の通信回路を正常に回復させていくもの。

老若男女問わず幅広く利用

施設ではまずじっくりと問診し、背骨の状態を特殊な機械で神経への圧迫度を数値化、グラフ化しチェック。必要なら仙台市内の病院でレントゲン撮影し、それをもとに背骨の状態を細かく分析し、綿密なケアプログラムを組み立て、江川院長が熟練した手によって力と角度を調整しながら施術する。オープン以来、乳幼児からシニアまで老若男女問わず幅広く利用され、事故で悩まされていた痛みが消えたなど喜ばれている。加えて健康に正しく「食べる」こと「動く」こと、「考える」ことの三つのトピックを中心に毎月セミナーも開催している。



正面から見た背骨の位置。右がカイロプラクティックを行う前、3カ月後が左の写真。ゆがみがかなり解消されている。

<http://www.doctoregawa.com>